

色とりどりの秋 家族で文化財を巡ろう!

④大雄寺 (だいおうじ)

巨理伊達家の菩提寺として伊達成実が雄山寺として創建し、その後名を大雄寺と改めました。

創建時の建物は元文元年(1736)に全焼して、再建しようとしたが財政難のため仮建築となりました。その後文政2年(1818)に本殿、庫裡、山門が再建され、現存する山門はこの時のものです。

また、初代成実が南の小高い一画を巨理伊達家の御廟所と定め、14代邦成が北海道へ移住するまでの13代の領主と夫人の御霊がここに眠っています。成実霊屋は1月16日と8月16日の年2回御開帳しています。



※今は警備の関係で霊屋の周りには柵があります。 ※山門は改修が行われたばかりです。

⑤鹿島天足和気神社 (かしまあまたらしわけじんじゃ)

今からおおよそ1900年前の景行41年(111)に日本武尊が、武神の武甕槌神を祭ったのがはじまりといわれる由緒ある神社です。平安時代の記録『延喜式』に記載された神社で、このほか町内には鹿島伊都乃比気神社(不明)、鹿島緒名太神社(逢隈小山)、阿福河伯神社(逢隈田沢)が記載されています。



※町内で現存する最も古い神社です。

⑥郷土資料館 (きょうどしりょうかん)

巨理の文化歴史を知ってもらうため多くの資料などをわかりやすく展示しています。

今日巡ったときの疑問を学芸員に聞いてみてください。また5階展望室からは巨理町が一望できますので、今日の足跡を辿ってみてください。何かあたらしい発見があるかもしれません。

巨理編



コース
今回は巨理町役場に車を止めて、①から順に巡っていただくコースを設定しました。みなさんの体力や時間に合わせて、調整しながら巡りましょう。また、交通事故には十分注意しましょう！特に国道を横断する際は、危険ですので必ず横断歩道を渡りましょう。

「ふるさと巨理 歴史の散歩路」好評発売中
巨理の歴史が満載！この本を片手に巨理を巡り、巨理のすばらしさを実感しよう！全43話 頒布価格200円 ※お求めは、郷土資料館・巨理町教育委員会・わたり温泉島の海・企画財政課まで

①巨理神社 (わたりじんじゃ)

現在の巨理神社周辺は、かつて巨理伊達家の館(巨理要害)が置かれ御館として親しまれています。御館の築城時期は不明ですが、巨理氏が支配していた頃に築かれ、片倉小十郎と伊達成実が整備し、現在の巨理の礎を築きました。

また、戊辰戦争の降服式がこの地で行われ、巨理伊達家の北海道移住により要害としての役目を終えました。



※巨理神社は北海道へ移住しなかった人々が成実の功績を伝えるため建立されました。

②シイノキ (称名寺)

シイノキは南方性温暖の常緑広葉樹で北方には、稀な巨木です。鎌倉時代に武石氏(後の巨理氏)が光明院(後の称名寺)を開山し、そのときに鎌倉から移植されたと伝えられています。

この称名寺にあるシイノキは、昭和18年に国の天然記念物に指定され、推定樹齢700年を超えています。



※境内にはもう1本シイノキがあり、こちらは推定樹齢300年と言われ町指定の天然記念物に指定されています。

③尊久老稲荷神社 (そんくろういなりじんじゃ)

842年陸奥の太守小野篁がこの地を訪れた際、一人の童子が道案内をしました。稲荷山付近に来ると童子は「予の住まいはこの深山なり」と黒狐に身を変えて姿を消し、そこで小祠を建て「総黒稲荷」として信仰されたと伝えられています。



※鳥居の横には種まき桜がひっそりとたたずんでいます。本殿はここから奥まった所にあります。